

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1472800398
法人名	医療法人社団 北條会
事業所名	グループホームそば
訪問調査日	平成20年10月10日
評価確定日	平成21年1月2日
評価機関名	社団法人かながわ福祉サービス振興会

項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月23日

【評価実施概要】

事業所番号	1472800398		
法人名	医療法人社団 北條会		
事業所名	グループホームそば		
所在地 (電話番号)	神奈川県秦野市渋沢1856-1 (電話) 0463-86-0150		
評価機関名	社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成20年10月10日	評価確定日	平成21年1月2日

【情報提供票より】(20年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 2 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 11人, 非常勤 7人, 常勤換算	15.2人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87 歳	最低	79 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	八木病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>このホームは小田急渋沢駅より徒歩15分のところにあり、秦野盆地の南西に位置している。周囲は一般住宅と畑が混在しているが、閑静で緑も多く自然条件にも恵まれている。</p> <p>法人が経営する関連施設とは医療、防災、人事、研修等で連携しており、事業展開の上でプラスになっている。特に法人の教育室が主催する新人研修、年2回のステップアップ研修等で、職員のスキルアップと自己啓発を図っている。</p> <p>職員は利用者を人生の先輩として接し、生活全般において利用者一人ひとりの尊厳を大切にしよう努めている。また、医療連携による医師の往診や法人関連施設の看護師による24時間対応で健康維持に努めている。利用者はこのような環境の中で穏やかな日々を過ごしている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では改善課題は特になかったが、全体的にサービスを見直す機会と捉え、更なる改善につなげるようにしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員の取り組みにより作成された。その作成過程で個々のサービスについて、職員それぞれの立場から客観的に見つめ、反省の機会とし改善につなげるよう努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、事業所から報告をする以外に、出席者からの意見や質問等、第三者の声を聞く貴重な場となっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の来訪時に意見や希望を聞いているが、今までのところ意見や苦情は特にない。家族や第三者の意見を尊重する姿勢は大事にしたいと考えている。なお、重要事項説明書に苦情等の相談窓口が明記されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し、地域清掃への参加やお祭りで交流があり、散歩や買い物の折、近隣の方と気軽に挨拶するように努めている。ボランティアの来訪は利用者の楽しみの機会になっている。また、事業所の敷地内にゴミ置き場を設け、交流の一助にしている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の運営方針(理念)が明文化され、それぞれの事業所において業務遂行の指針とされている。そこには利用者の尊厳を始め、人権の尊重、安全への配慮、利用者本位のサービス提供、職員の仕事への誇り等と、細部にわたり述べられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営方針(理念)は事務室入口に掲げられ、職員が日々目に触れることができ、来訪者が事業所の取り組みを理解できるようにしている。管理者は毎日の打ち合わせや各種会議で折に触れて、理念の周知徹底に努め、職員は理念を常に意識して利用者を支援している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域清掃活動に参加したり、春秋のお祭りの御輿がホームに立ち寄りたりしている。散歩や買い物の際は、近隣の方と気軽に挨拶するように努めている。日本舞踊、ウクレレ、琴の演奏等のボランティアの来訪も、楽しみの機会になっている。また、事業所の敷地内に自治会住民のためのゴミ収集施設を設け、近隣の人に利用してもらい、交流の一助にしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は項目毎に時間をかけて職員全員で取り組み、最終的には管理者が取りまとめて作成された。自己評価を行う過程で気づきがあり、職員間で改善に向けて話し合う契機にもなっている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は平成19年度より始まり、ほぼ3ヵ月毎に開催している。利用者の家族からは一人ずつ交代で参加してもらうほか、行政担当者、地域民生委員等のメンバーで開催している。会議内容は事業所からの報告や地域との情報交換等が主で、次回は避難訓練や防災など地域との連携について話し合う予定になっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の高齢介護課の窓口には事業所紹介のパンフレットを常置し、入居状況を月1回報告するなどして連携している。市主催の保健センターフェスティバルでも利用者の作品を展示し、参加している。また、行政主催の市内事業者連絡会が定期的開催され、情報交換の場となっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等がホームを来訪する都度暮らしぶりを伝えていますが、その他に必要な電話連絡をしている。現金出納については毎月、明細を法人発行の「みかんこ便り」と共に送付している。家族会の設立を家族に提案したが、設立には至らなかった。年2回の夏祭り、餅つきにはほとんどの家族が参加して交流の場になっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情等の相談窓口が明記されており、入居時に説明している。通常、家族の来訪時やほぼ年2回開かれるケアプランの説明会の際に、意見や希望を聞いている。今までのところ意見や苦情は特にないが、希望については、申し送り時や会議等で話し合い、対応するようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は法人内が主で、少数である。頻繁な入れ替わりを避けるため、職員を常勤にし、モラルを高めている。 新人をベテランと組み合わせることで、利用者に安心感を与え、かつ技術の向上を早めるようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新採用職員は、法人内で2ヵ月間の新人研修を行っている。法人の教育室で年2回のステップアップ研修を中心に、必要に応じて研修を行い職員のスキルアップを図っている。また、「研修個人カード」に実績が記録されるので、職員は各自で目標を定め、実行・評価することにより自己啓発につなげている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内事業者連絡会や県央西のグループホーム協会の会議や研修に参加して情報交換等を行い、サービスの向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族には資料を用いて事業所のサービスについて十分に説明するほか、事前に見学をしてもらっている。利用者については、暫定の介護計画を作成して、職員による声掛けや見守り等で徐々に馴染むように努めている。運営規程には、入居から退居までの業務の流れが図によりわかりやすく明示されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>訪問時には利用者が自ら進んで調理の下準備に参加する光景が見られた。その他、掃除、洗濯、草むしり、趣味の活動等、様々な場で職員は利用者と共に過ごし、経験に基づいた生活の知恵を学んでいる。ある職員からは、利用者との多くのかかわりについて、利用者は「図書館」そのものであるとの感想があった。</p>		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時にフェイスシートを用いたアセスメントを行い、利用者一人ひとりの身体等の状況、暮らしへの思い、家族の意向や要望の把握に努めている。自分の思いを伝えることが困難な利用者には、家族から聞いたり、生活の中での様子や表情から読み取るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居時のアセスメントを基に暫定の介護計画を作成し、1ヶ月くらい様子を見て、職員の意見も聞いて目標を決め、本計画を立てる。介護計画はカーデックスに入れ参照しながら日常のケアを行い、その内容を「経過記録」に記入し、職員間で共有するようにしている。また、居室担当制を採用し、医師等外部からの関係情報及び利用者の状況や家族の意向の把握に努め、介護計画に反映するようにしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>見直しは通常3ヵ月毎にカンファレンスで、日々の「経過記録」や担当者会議の内容を参考にしながら行われている。なお、要介護度の変更時やADLの変化が著しいケースでは、その都度新たな計画を作成している。家族にはケアプランを説明し、承認を得ている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状態や家族の意向に沿った介護に努め、ケースによっては法人内の関係施設への紹介も柔軟に行っている。家族の都合が付かない場合には通院の付き添いもしている。緊急時には、法人が経営する24時間看護体制のある老人保健施設の支援を受けることが可能である。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者のうち3名は、入居以前からのかかりつけ医を利用している。その他の利用者には法人の医師が毎週来所し、半数ずつ診ている。また、法人の介護老人保健施設の看護師と24時間の連絡体制をとっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した場合には、家族や医療関係者と連携して、利用者の状態を適切に把握して対処するようにしている。終末期に適切な場所でケアが受けられるよう法人全体で検討しており、法人内もしくは他の関係施設へ移転するケースが多い。全職員もその方針に則ってサービスに努めている。このことについて家族とは入居当初より話し合い確認している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「利用者の尊厳、人権尊重」等の理念を念頭におきつつ、利用者へのトイレ誘導の際の言葉かけ、昼食時の接し方等で、心配りしている状況が観察できた。各種の記録や個人情報などの資料は事務室内の施錠可能なキャビネットで適切に管理されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の思いや動きに合わせた日課表が作られている。職員は利用者一人ひとりのペースや生活パターンで、起床から就寝まで、テレビを見たり、お酒を楽しんだり、利用者本人の希望に沿った生活ができるような支援を心掛けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、料理に合せた大小の瀬戸物の食器に盛り付けられ、食べる楽しみだけでなく、料理や彩りある器を目でも楽しめるよう工夫されていた。食事は利用者と職員が一体となって和気あいあいと楽しんでいた。職員と共に包丁を持って調理をする利用者もあり、調理、配膳、片付け等一人ひとりができる範囲で参加している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1日おきで午後3時過ぎから夕食前の入浴を基本としている。現在、入浴嫌いの利用者が多いが、そのような人が安心して入浴出来るように、誘導を工夫している。家族に手伝ってもらうケースもある。入浴剤やゆず湯、菖蒲湯等で入浴を楽しむ機会を作っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の生活歴や経験を十分把握し、状態を勘案した上で支援している。利用者は趣味の書道、貼り絵や紙細工、調理・掃除・洗濯等に出来る範囲で気軽に参加している。また、利用者は、近くへの散歩、野菜直売所の人との交流、ボランティアの催し等を楽しみながら日々を過ごしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に近隣を散歩したり、ついでに野菜直売所へ立ち寄ったり、駅周辺まで足を伸ばして買い物を楽しんだりしている。また、車椅子を利用しての散歩や家族が同行しての夕食やドライブにも出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中は施錠していない。ユニットの出入り口は施錠しているが、リビングや各居室の外に面する引き戸からは、ベランダや庭に自由に出入りができる。居室には内鍵があり、利用者によっては夜間に掛ける人もいるが、安全面を考慮して外部からの開錠が可能な仕組みになっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練はこの春に避難訓練も兼ねて実施した。消火器材の定期点検を受け、非常用食料、水、缶詰等を準備し、その更新も定期的に行っている。災害時に地域住民の支援を得られるよう運営推進会議において働きかけている。今後、消防署にあるビデオの事例などを参考にしながら、夜間1人体制の時の災害対応について、職員の研修をしていく意向である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は法人の管理栄養士が作成する。週3回は利用者の希望や季節を考え事業所独自のものを取り入れてもらっているが、管理栄養士がカロリーと栄養バランスを確認している。利用者一人ひとりの食事量についてはチェック表で管理されている。水分量については医師の指示が必要であれば記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにはテレビや応接セット、季節の草花が飾られ、隅には小上がりの畳敷きの部分もある。手作りのカレンダーや利用者が皆で作った季節の花の飾りが壁面に張られ、書道作品、行事の写真が彩りを添え、家庭的な雰囲気をかもしだしていた。室内は全体的に窓や引き戸のスペースが広くとられ、明るく、廊下、トイレ、浴室等にも安全面での配慮がなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはベット、整理ダンス、座卓、小物入れ、花瓶、テレビ、時計、家族の写真、手作りの暦等の馴染みのものが持ち込まれ、明るく気持ちのよい部屋になっている。		